

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県青少年美術展開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部文化伝承課 電話番号：058-272-1111(内3143)
教育文化係

E-mail : c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,083千円 (前年度予算額： 4,870千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	4,870	0	0	0	0	0	0	0	4,870
要求額	5,083	0	0	0	0	0	0	0	5,083
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・青少年の作品発表の貴重な機会となっている。また、入場者数も年々増加傾向で、文化芸術に触れるよい機会となっている。よって、今後も青少年の文化芸術に対する興味・関心を高めていく展覧会の実施を必要とする。
- ・今年度も最優秀賞受賞者の表彰式を実施した。この表彰式により、小中高生の美術等の能力向上に対する意欲が高まっている。さらに、岐阜県美術館長が選定する「ナンヤローネ賞」を設定してきたことで、青少年の文化芸術への興味・関心を高めるきっかけとなっている。コロナ禍を機に令和3年度から実施している新たな鑑賞方法である3DVRも継続する。今後も、広く県内から作品を公募し、多くの園児・児童・生徒に観覧する場を設けることで、本県美術のさらなる普及を目指す。

(2) 事業内容

- ・青年部5部門(絵画、デザイン、立体、書道、写真)、少年部2部門(絵画デザイン、書写)の作品を公募
- ・岐阜県美術館において、全ての入賞・入選作品を展示
- ・青年部少年部各部門の最優秀賞を選定し表彰式を実施
- ・岐阜県美術館長選定による「ナンヤローネ賞」を選定

(3) 県負担・補助率の考え方

文化芸術を創造する人づくり、文化芸術振興の環境づくりに向けた対策として、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	55	少年部一次選定委員謝金、運営委員謝金、選定委員会謝金
旅費	376	青年部、少年部選定委員旅費、運営協議会委員旅費、業務旅費
需用費	462	消耗品費、印刷製本費(賞状、応募要項等)
役務費	62	通信運搬費、案内業務
委託料	4,109	作品輸送・展示・会場設営・会場撤去一式、写真撮影代、看板代、3DVR撮影・制作・管理一式
使用料	19	パロー文化ホール使用料
合計	5,083	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

本県美術の普及のために、広く県内から作品を公募し、一般に公開している。少年部は応募数を43,000点、青年部は応募数を1,600点を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績	終期目標 (R10)	達成率
①青年部応募数	1,064	1,204	1,293	1,288	1,600	80.5%
②少年部参加者 数	31,938	36,496	39,044	36,189	43,000	84.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 5 年 度	(1) 岐阜県青少年美術展会期…岐阜県美術館 • 展覧会 7月1日（土）～7月9日（日） • 最優秀賞表彰式 7月2日（日） (2) 岐阜県青少年美術展入場者数 • 10,118名
	指標① 目標：青年部 1,600 実績： 1,204 達成率： 75.3% 指標② 目標：少年部 43,000 実績： 36,496 達成率： 84.9%
令和 6 年 度	(1) 岐阜県青少年美術展会期…岐阜県美術館 • 展覧会 7月6日（土）～7月15日（月・祝） • 最優秀賞表彰式 7月7日（日） (2) 岐阜県青少年美術展入場者数 • 10,250名
	指標① 目標：青年部 1,600 実績： 1,293 達成率： 80.8% 指標② 目標：少年部 43,000 実績： 39,044 達成率： 90.8%
令和 7 年 度	(1) 岐阜県青少年美術展会期…岐阜県美術館 • 展覧会 7月5日（土）～7月13日（日） • 最優秀賞表彰式 7月6日（日） (2) 岐阜県青少年美術展入場者数 • 16,511名
	指標① 目標：青年部 1,600 実績： 1,288 達成率： 80.5% 指標② 目標：少年部 43,000 実績： 36,189 達成率： 84.2%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	子どもたちが作品を発表する機会、鑑賞する機会として、園や学校及び県内の皆様からの支持は高い。幼児期から青年期にかけての能力開発の視点からも、本県美術の普及と表現力の育成につながるため、事業の必要性は高い。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	入場者数も年々増加しており、本展覧会への期待は高いため、開催の周知徹底を図り、応募数及び入場者数の増加を目指す。
-----------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	少年部では、各県事務所において1次選定を行い、点数を絞ることで、本選定を円滑に実施している。 本選定においても、会計年度任用職員を効果的に配置し、できるだけ広く会場を使用して選定作品を並べ、多くの作品を短時間で選定できるよう効率化を図っている。
-----------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

中長期的な課題として、児童生徒数の減少により、応募者数も減少傾向にあるため、前年度から学校関係者への周知を行った。新規で応募する団体もあり、今後も公募案内や開催案内をより幅広く行い応募者数の増加を目指す。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

子どもたちが作品を発表する機会、鑑賞する機会、また表彰を受け制作意欲を高める機会として、園や学校及び県内の皆様からの期待は高い。

今後も、各高等学校、各教育事務所や市町村教育委員会を通じて、応募者数と入場者数の増加を求め、実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	